米沢市認知症地域支援推進員通信　No.１４　令和６年冬号発行

おらだの声

発行者：米沢市認知症地域支援推進員
高齢福祉課地域包括支援担当
☎22 - 5111

キャラバン・メイト情報交換会を開催しました！

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を応援する、認知症サポーターを養成する講座の講師役となるキャラバン・メイトのみなさんと情報交換会を行いました。令和６年１月の認知症基本法の施行にあわせ、認知症サポーター養成講座の内容が、認知症を自分ごととして受け止め、共生社会を強調する内容に変更となりました。新テキストでの講座内容の確認や講座を開催するにあたっての悩みや不安なこと等を話しました。

Point

（新テキストのポイント）

- 情報を最新の内容にアップデート
- 自分ごととして考える視点を重視
- 認知症のご本人の意見を確認しながら作成

キャラバン・メイトのみなさんからは…

◦新テキストになり、受講される方に理解していただけるように、自分も理解が必要だと感じた。

◦チームオレンジや認知症カフェなど、自分も勉強しながら、わかりやすくお伝えできるよう工夫が必要だと思った。

◦ポイントを整理して、新しい情報を交えながら開催できるようにしていきたい。

◦講座の時間が約１時間３０分と長いため、DVD や劇などを取り入れながら、飽きないような工夫が必要だと思った。

◦企業の方からの講座依頼も増えており、認知症に対する関心が広がっているため、より多くの幅広い年齢層の方に受講いただけるように周知活動にも力をいれていきたい。

認知症サポーター養成講座についてのお問い合わせは、高齢福祉課地域包括支援担当へ

認知症カフェの紹介

　認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域の方、介護や福祉などの専門職の方など、だれでも気軽に集える場所です。介護者のつながりの場だけでなく、認知症の人が「これからも安心して暮らしていくため」の新たな出会いや繋がりの場にもなっています。

　現在、米沢市内には１５ヵ所の認知症カフェがあります。その中の１つ、塩井コミュニティセンターで開催されている「塩井のおらぁだのカフェ」があります。このカフェは、年５回開催され、認知症関連の講話や体操、脳トレ、制作等を行った後に、お茶会をしながらの交流などを行っています。今回は、カフェに参加された方々の声をご紹介いたします。

「塩井のおらぁだのカフェ」参加者の声

初めての参加でしたがとても楽しかったです。
ハーモニカを演奏できて嬉しかった。

ハーモニカを披露する場を提供していただきありがとうございました。一緒に参加させてもらい、とても楽しかったです。（認知症の人のご家族）

認知症に対する知識をていねいに教えていただきました。
日頃の暮らし方に対してのヒントや心構えなど大変参考になりました。

自分は、今日さそっていただき本当にありがとう。
気持が一番落ち込んでいた時、さそって下さって有りがとうございました。（認知症のご本人）

１　人暮らしで人と話をする機会がなかなかない。
認知症にはなりたくないと思っている。認知症にならないのが目標。
足がなくて送迎してもらい助かっている。感謝している。

今後の日程：令和６年12月20日（金）令和７年２月27日（木）10:00～11:30に開催します。皆様の参加をお待ちしています。